

第39回 北海道腎移植談話会

《 プログラム 》

日時：令和2年3月7日（土）13時00分～17時20分

札幌会場：北海道大学 臨床大講義堂

札幌市北区北15条西7丁目

砂川会場：市立砂川病院 2階 多目的ホール 1,2

旭川会場：旭川医科大学病院 外来棟3階 遠隔医療センター

釧路会場：市立釧路総合病院 2階 講堂

ご挨拶

平素より北海道における腎移植医療にご尽力頂き、感謝申し上げます。

このたび、当院で当番幹事を担当し、本談話会を開催することとなりました。皆様、何卒よろしくご参加をお願い致します。

前回の開催は、地震の影響で当番幹事の札幌医科大学病院にて3月に開催を頂きました。

昨今の天候・自然の影響や当院の地理的状況を考慮しまして、今回は各地域の同時中継にて、談話会開催を計画させていただきました。過去の幹事会で繰り返し論議されて参りましたように、医療スタッフの研修や研究会、学会参加等も時代の背景から効率化が求められております。また、働き方改革や病院機能の観点からも病院職員に負担のかからない方法を模索する必要があります。

当院も例にもれず、道東の遠隔地から研修に参加するスタッフの負担が大きく、開催にあたり皆で相談した結果、複数施設での同時中継により、参加しやすい環境づくりを目指していくことになりました。地元開催なので当院からは多くのスタッフが参加・発表を表明しております。7つの医療部門から8演題を準備し、皆様からのご意見、ご指導を是非とも頂きたく、ご参加を重ねご依頼申し上げます。

中継開催にあたりましては事前に開催各施設と十分に打ち合わせを行い、画像や音声を含めてスムーズに開催できるよう準備をして参ります。重ねまして、皆様のご参加、ご発表をお待ちしております。

市立釧路総合病院 院長 高平 真

事務局 泌尿器科 森田 研

ご参加の皆様へのご案内

- 【受付・会費】** 会場前の受付にてご記帳の上、参加費をお支払いください。
- 【駐車場】** お車での来場はご遠慮ください。会場敷地内の駐車場は使用できません。
- 【喫煙】** 敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 【参加費】** 今年より参加費を以下のように設定しております。
- | | |
|-------------------------------|---------|
| ・ 医師（専攻医以降） | 2,000 円 |
| ・ 企業（製薬企業等） | 5,000 円 |
| ・ 学生（医療職種不問） | 無 料 |
| ・ その他（研修医・コメディカル・事務部門・報道関係など） | 500 円 |

演者の皆様： 受付・会費納入後、PC 受付で演題登録をお願いします。

- ・ 一般演題
口演 8 分、質疑応答は各 2 分です。
- ・ 多元中継のためスライドファイルのバックアップを予め事務局にて取っておきます。
前日までに、メールにてお送り下さい。 kh10425@kushiro-cghp.jp
- ・ Windows フォーマットに限ります。スライドはパワーポイントにて作成をお願いします。
- ・ 30 分前までに発表の受付をお済ませください。

プログラムの記載について

- ・ 敬称は略させていただいております。ご了承ください。

プログラム

13 : 00～13 : 05 開会のご挨拶

当番幹事施設 市立釧路総合病院 院長 高平 真

13 : 05～14 : 00 一般演題 (多職種連携)

1. 腎移植患者の長期管理における薬剤師の関わり

○君島 亨

市立釧路総合病院 薬剤部

2. 当院における腎移植に関するC Eの関わり

○門馬 美鈴、原田 由美子、青田 浩義、原田 智昭、畑 貴志

市立釧路総合病院 臨床工学室

3. 生体腎移植術前後のリハビリ介入状況と今後の課題

○中本 恭央、平川 宏樹

市立釧路総合病院 リハビリテーション科

4. 当院腎移植術例における腎動脈エコーと尿中バイオマーカーの有用性

○渋谷 俊幸¹⁾、渡部 篤¹⁾、森田 研²⁾

1) 市立釧路総合病院 検査科、2) 泌尿器科

5. 院内ポテンシャルドナーの検出に向けた後ろ向き検討

○亀井 恵子

市立釧路総合病院 院内コーディネーター

14 : 00～14 : 40 一般演題 (医療支援)

1. 腎機能悪化により腎提供を見合わせたドナー支援を振り返る

○河崎 愛¹⁾、藁谷 洋子²⁾

1) 市立釧路総合病院 透析室、 2) 腎臓外来

2. 抑うつ状態の患者に対する二次移植への支援を振り返る

○藁谷 洋子¹⁾、河崎 愛²⁾

1) 市立釧路総合病院 腎臓外来、 2) 透析室

3. A 病院における透析経験腎移植患者と先行的腎移植患者の比較

—自己管理行動の促進要因に焦点をあてて—

○諸橋 小枝子、武田 奈緒、長瀬 聖実、矢萩 由香、鈴木 由佳

市立札幌病院 8階西病棟

4. 免疫抑制剤のノンアドヒアランスに関係する患者背景と認識について

○高田 めぐみ¹⁾、小田 和美²⁾、貝谷 敏子²⁾、藤井 瑞恵²⁾

1) 北海道大学病院 医科外来ナースセンター、 2) 札幌市立大学大学院 看護学研究科

14 : 40～15 : 00 休憩 ・ 総会

市立釧路総合病院 森田 研

15 : 00～15 : 30 一般演題 (環境・システム)

1. 腎移植術クリニカルパスを作成して

○山崎 あずさ

市立釧路総合病院 7B 病棟

2. 生体腎移植ドナーのクリニカルパス作成の試み

○田中 宏幸、内山 真由美

札幌医科大学附属病院 西 8 階病棟

3. 当院における生体腎移植に向けての取り組み

○伊藤 洋輔¹⁾、岡本 延彦¹⁾、玉置 透²⁾、土橋 誠一郎²⁾、有倉 潤²⁾、
宮腰 麻矢³⁾

¹⁾ にれの杜クリニック 腎臓内科、²⁾ 外科、³⁾ 看護部

15 : 30～16 : 20 一般演題 (レシピエント)

1. 生体腎移植後に尿管瘻を形成した 1 例

○川代 啓太、森田 研、青柳 俊紀、谷口 成実、村雲 雅志

市立釧路総合病院 泌尿器科

2. 腎移植後エベロリムスによる薬剤性肺障害を発症した 1 例

○前鼻 健志¹⁾、田中 俊明²⁾、舩森 直哉²⁾

¹⁾ 製鉄記念室蘭病院 泌尿器科、²⁾ 札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座

3. ステロイドによるカルシニューリン阻害剤腎毒性進行抑制効果の検討

○岩原 直也¹⁾、佐々木 元²⁾、岩見 大基¹⁾、堀田 記世彦¹⁾、高田 祐輔³⁾、

樋口 はるか⁴⁾、田邊 起²⁾、篠原 信雄¹⁾

1) 北海道大学病院 泌尿器科、2) 市立札幌病院 腎臓移植外科、

3) 札幌厚生病院 泌尿器科、4) 市立札幌病院 泌尿器科

4. EB ウイルス感染の遷延により免疫抑制剤を減量しエベロリムス単剤で長期生着している
生体腎移植の 1 例

○古御堂 純、堀田 記世彦、岩見 大基、岩原 直也、篠原 信雄

北海道大学病院 泌尿器科

5. 左右 2 回の骨盤内臓移植歴のため、同所性腎移植を選択した 1 例

○黒沢 瞭¹⁾、千葉 博基¹⁾、岩見 大基¹⁾、堀田 記世彦¹⁾、篠原 信雄¹⁾、
新宮 康栄²⁾

1) 北海道大学病院 泌尿器科、2) 循環器外科

16:20~17:10 一般演題 (並存疾患・合併症)

1. BMI40 超のレシピエントに対する腎移植の経験

○田中 俊明、栗栖 知世、小笠原 卓音、福多 史昌、舩森 直哉

札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座

2. 腎移植後アデノウイルス出血性膀胱炎の 3 例

○柳瀬 雅裕¹⁾、村中 貴之¹⁾、国島 康晴¹⁾、田中 俊明²⁾、前鼻 健志³⁾

1) 砂川市立病院 泌尿器科、2) 札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座、

3) 製鉄記念室蘭病院 泌尿器科

3. 透析歴 41 年の長期透析患者に対する生体腎移植の 1 例

○山崎 浩司¹⁾、田中 俊明¹⁾、幸前 和¹⁾、前鼻 健志²⁾、舛森 直哉¹⁾

¹⁾ 札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座、²⁾ 製鉄記念室蘭病院

4. 術後外腸骨静脈狭窄により血管再吻合術を要した生体腎移植の1例

○田邊 起¹⁾、佐々木 元¹⁾ 樋口 はるか²⁾、平田 由里絵²⁾、西村 陽子²⁾、
三浪 圭太²⁾、守屋 仁彦²⁾、田中 博²⁾、関 利盛²⁾、平野 哲夫¹⁾、原田 浩³⁾

¹⁾ 市立札幌病院 腎臓移植外科、²⁾ 泌尿器科、³⁾ はらだ腎泌尿器クリニック

5. 生体腎移植後に血中 CMV-DNA にて診断した CMV 初感染症例

○佐々木 元¹⁾、田邊 起¹⁾、樋口 はるか²⁾、田中 博²⁾、平野 哲夫¹⁾

¹⁾ 市立札幌病院 腎臓移植外科、²⁾ 泌尿器科

17 : 10~17 : 20 閉会のご挨拶

世話人 北海道大学病院 篠原信雄